

2025 年 7 月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済は、総じて弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2025 年 7 月 29 日公表）において、「景気は、米国の通商せ遺作等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復している」との表現に変更された。個別項目では、米国の関税措置の影響から「輸出」、「世界経済」に関する表現が一部変更された。

以下では、「全国の情勢」、「和歌山県の情勢」を主要経済指標（主に 6 月の値）に基づき報告する。

全国の情勢

① 需要動向に関して、「個人消費」、「設備投資」、「公共投資」、「住宅建設」、「輸入」に関する判断が維持された。「輸出」に関しては、自動車輸出の回復状況に一服感が見られることから、判断が下方修正された。

② 企業活動に関して、「業況判断」、「生産」、「倒産件数」、「企業収益」に関する判断が維持された。

③ 雇用情勢に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。

④ 物価に関しては、「国内企業物価」については、「このところ上昇テンポが鈍化している」との表現に変更となる一方で、「消費者物価」については、「上昇している」との判断が維持された。

⑤ 世界経済に関しては、「世界の景気は、持ち直しが緩やかになっており、一部の地域において足踏みがみられるほか、関税率引上げに伴う駆け込み需要やその反動の影響、不透明感がみられる」との表現が維持された。国・地域別では、ヨーロッパ地域・ドイツで景気判断の表現が一部変更となる中、タイでは、個人消費が快調なこともあり、「景気は持ち直しの兆しがみられる」との判断に引き上げられた。

和歌山県の情勢

① 個人消費面では、百貨店・スーパー販売額（6 月）は、前年同月比 0.1% 増となり、3 か月連続で前年を上回った。近鉄百貨店和歌山店の販売額（6 月）が前年同月比 5.4% 減となる中で、スーパー販売額は前年同月を上回る水準で推移している。

新車販売台数（軽自動車[乗用]含む、6 月）は、前年同月比 7.3% 増となり、6 か月連続で前年を上回った。登録車、軽乗用車ともに前年を上回っている。前年同月は、一部自動車メーカーによる認証不正問題で販売台数が大きく落ち込んでいた。ただし、1 月～6 月の累計販売台数は 17,127 台となっており、2024 年同時期に比べると 10.5% 増だが、23 年同時期比では 5.9% 減となっている。

新設住宅着工戸数（6 月）は、前年同月比 12.6% 増（2 か月ぶりに前年を上回る）。1 月～6 月の累計着工戸数は 1,529 戸となっており、上半期としては直近 10 年間で最も少なくなっている（最も多かったのは 2018 年で 2,488 戸）。特に分譲住宅は 18 年比で 62.8% 減、持家は同 35.2% 減と大きく減少している。

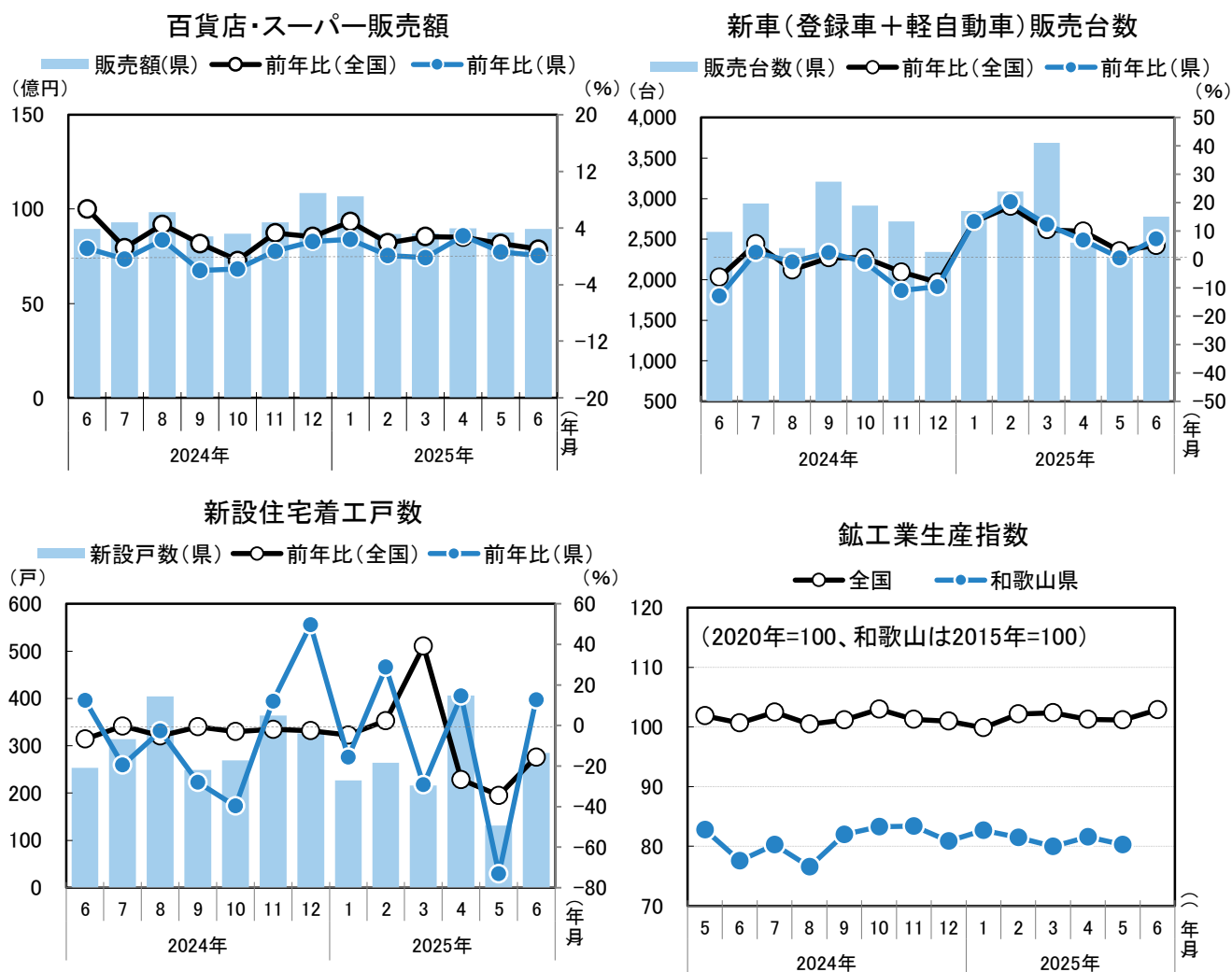
② 企業活動面では、鉱工業生産指数（5 月）は、80.3 となっており、2 か月ぶりに下降した。2023 年 10 月に ENEOS 和歌山製油所が操業を停止したことで、石油・石炭製品工業の

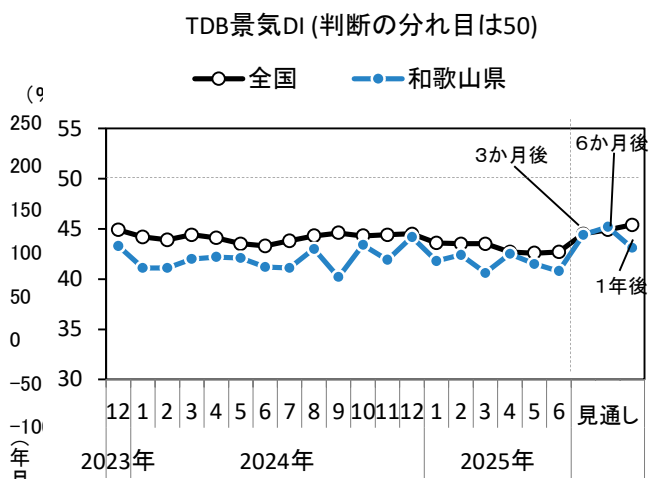
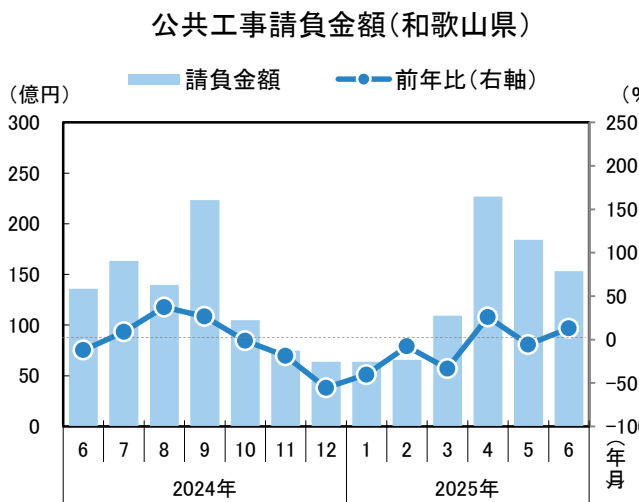
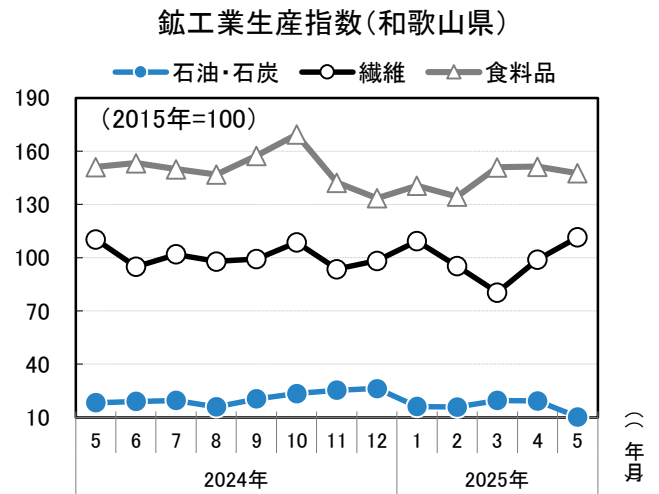
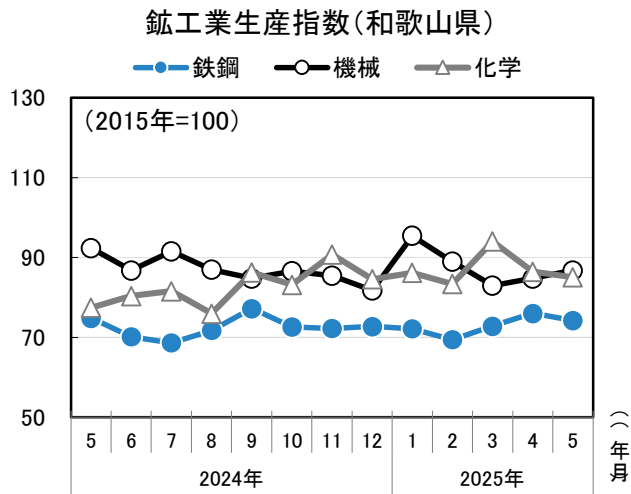
生産指数が極めて低い水準にあり、電気機械工業の指数も低迷している。繊維工業や食品工業の生産指数は高水準にあり、生産機械工業の指数も約1年ぶりの水準まで上昇しているが、主力業種である鉄鋼業が低調で、県内製造業の生産状況は「一進一退」の状況にある。

公共工事請負金額(6月)は、前年同月比12.6%増となり、2か月ぶりに前年を上回った。2021年度以降、減少傾向にある請負金額だが、25年度に関しては、4月～6月累計の請負金額が前年同期比10.1%増となっている。

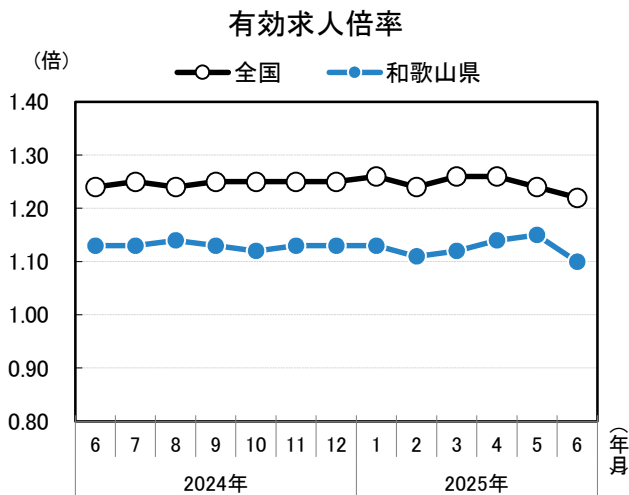
帝国データバンクが発表している県内TDB景気DI(6月)は、2か月連続で下降。先行き不透明感も強く、1年後の景気DIは6か月後の見通しに比べて下降する模様。このような状況の中で、帝国データバンクは、「県内企業の3月決算動向も『増収減益』の企業が多く、価格転嫁が進みつつある一方で仕入れ価格の上昇や賃上げ対応による経費が増加している」としている。

③雇用面については、有効求人倍率(6月)は、前月から0.05ポイント下降し、約1年半ぶりの低水準となった。有効求人数が減少する一方で、有効求職者数が増加している。9か月ぶりに雇用保険受給者実人員が前年を上回った。新規求人数については、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業で減少傾向が見られる。このような状況について、和歌山労働局では、「雇用情勢は、求人が求職を上回る状況が続いているが、持ち直しの動きに弱さがみられる。引き続き、物価上昇等が雇用に与える影響に注意する必要がある」としており、「弱さ」があるとの表現を追加している。





(資料)株式会社データバンク



(1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2019年	1,188	-1.1	-1.9	38,733	-1.6	-0.6	5,188	-4.0	5.1
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	-0.3	30,549	-7.0	-5.8	4,758	0.4	3.6
2023年	1,106	4.6	1.5	20,583	18.4	19.0	3,958	-4.6	-16.8
2024年5月	87.1	4.2	-1.5	2,256	-4.2	-4.0	488	-5.3	75.5
6月	89.4	6.7	1.1	2,590	-6.2	-12.9	253	-6.7	12.4
7月	93.0	1.2	-0.4	2,940	5.6	2.6	314	-0.2	-19.5
8月	98.3	4.5	2.3	2,390	-3.6	-0.8	404	-5.1	-2.7
9月	85.5	1.8	-2.0	3,210	0.6	2.5	249	-0.6	-28.0
10月	86.9	-0.6	-1.8	2,915	0.7	-0.9	269	-2.9	-39.7
11月	92.9	3.3	0.7	2,717	-4.4	-10.9	364	-1.8	12.0
12月	108.5	2.8	2.1	2,342	-8.0	-9.5	326	-2.5	49.5
2025年1月	106.7	4.9	2.4	2,847	13.3	13.4	227	-4.6	-15.6
2月	86.8	1.9	0.1	3,087	18.7	20.3	264	2.4	28.8
3月	87.0	2.8	-0.2	3,687	10.5	12.3	216	39.1	-29.2
4月	89.7	2.7	2.9	2,458	10.0	6.8	406	-26.6	14.7
5月	87.6	1.8	0.6	2,269	3.1	0.6	131	-34.4	-73.2
6月	89.5	1.0	0.1	2,779	5.0	7.3	285	-15.6	12.6

(2025年8月4日に取得可能な資料より作成)

(2)企業活動面

	鉱工業生産指数(2015年=100) *全国は2020年=100								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2019年	111.6	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1,585.1	6.6	
2020年	100.0	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1,847.2	16.5	
2021年	105.4	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1,806.3	-2.2	
2022年	105.3	97.2	83.9	98.2	95.8	110.6	104.6	142.8	1,584.1	-12.3	
2023年	103.9	89.8	78.3	92.0	91.2	86.8	104.0	139.4	1,711.6	8.0	
2024年5月	101.9	82.8	74.8	92.3	77.4	18.4	110.3	151.1	196.1	20.3	42.1
6月	100.7	77.6	70.1	86.7	80.3	19.1	94.9	153.3	135.9	-12.5	41.2
7月	102.5	80.3	68.6	91.5	81.5	19.6	101.9	149.9	163.4	8.6	41.1
8月	100.5	76.6	71.7	86.9	75.9	16.0	97.8	146.9	139.5	37.2	43.0
9月	101.2	82.0	77.2	84.7	86.2	20.5	99.2	157.4	223.2	26.2	40.2
10月	103.0	83.3	72.6	86.5	83.1	23.5	108.6	169.4	104.9	-1.5	43.4
11月	101.3	83.4	72.2	85.4	90.7	25.4	93.5	142.3	74.7	-19.0	41.9
12月	101.0	80.9	72.7	81.7	84.5	26.4	98.2	133.6	63.8	-55.7	44.2
2025年1月	99.9	82.7	72.1	95.4	86.1	16.2	109.4	140.6	63.9	-40.7	41.8
2月	102.2	81.5	69.4	88.9	83.3	15.9	95.2	134.5	65.7	-8.1	42.4
3月	102.4	80.0	72.8	82.9	94.0	19.6	80.4	150.9	109.4	-33.6	40.6
4月	101.3	81.6	76.0	84.7	86.4	19.4	98.8	151.3	226.9	25.8	42.5
5月	101.2	80.3	74.2	86.7	85.0	10.4	111.5	147.6	184.3	-6.0	41.5
6月	102.9								153.1	12.6	40.8

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2025年8月4日に取得可能な資料より作成)

(3)雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2019年	1.60	1.41	17,920	12,699	17.6	17.1
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,876	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,977	14,777	14.8	16.8
2023年	1.31	1.13	16,340	14,409	14.7	18.2
2024年5月	1.25	1.11	16,310	14,640	15.3	21.3
6月	1.24	1.13	16,504	14,627	14.5	17.7
7月	1.25	1.13	16,433	14,516	13.2	16.5
8月	1.24	1.14	16,484	14,442	12.6	13.7
9月	1.25	1.13	16,340	14,492	12.7	17.7
10月	1.25	1.12	16,265	14,532	14.5	16.4
11月	1.25	1.13	16,439	14,607	13.2	17.0
12月	1.25	1.13	16,484	14,619	12.0	14.7
2025年1月	1.26	1.13	16,565	14,600	10.2	13.5
2月	1.24	1.11	16,292	14,683	12.3	18.3
3月	1.26	1.12	16,274	14,492	18.4	22.5
4月	1.26	1.14	16,192	14,194	15.0	20.2
5月	1.24	1.15	16,502	14,298	12.0	20.9
6月	1.22	1.10	16,150	14,635	15.6	19.5

(2025年8月4日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。